

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	グランディールキッズまめびよ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 11日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 2月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1日の流れが保育園に近く、利用時間も長いこと、身辺自立に力を入れることができること。	・保育園と似た環境にすることや就学に向けた支援内容を取り入れることで、スムーズな移行に繋がっている。 ・身辺自立は個々の成長に合わせて一人ひとりしっかり向き合い行っている。	・職員間や保護者と支援の意図をしっかりと共有し、優先順位や目標を明確にしていく。
2	・発表会をはじめ、成長を保護者に観て頂ける機会や季節を感じられる行事がたくさんあること。また、保護者迎えのため、保護者とのコミュニケーションを取る機会も確保できていること。	・発表会では、個々の発達に合わせた内容のものを考えている。無理のない範囲でどのような演出にしたらその子の能力が最大限に引き出せるか？保護者に成長を感じて頂けるか？を考えて取り組んでいる。 ・降園時や参観にて園での様子を伝えたり、家での様子を聞いたりして、保護者と成長を共に喜べる機会を作っている。	・体制を整え、行事の準備や、保護者とのコミュニケーションに必要な時間の確保をしていく。
3	・企画や意見を取り入れてくれるため、やりがいのある働きやすい職場であること。また、ケース会議では担当の職員以外の意見なども聞くことができ、みんなで検討することで不安が解消されている。	・出た意見は大切に、どのような方法であったら可能であるかを検討している。 ・毎月、会議では誰でも発言できる機会を作っている。	・引き続き、幅広い職員の意見に耳を傾けていく。また、職員一人一人がスキルアップできるように研修や実習への参加を促していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・いろいろな特性や月齢の児がいたり、体格が違うため、個別の対応が必要であるため、みんなで同じ内容の活動が難しい。	・2、3クラス、合同で活動することが多いため年齢や特性にバラつきが出てしまう。クラスごと別の活動だと職員の数の確保が必要となる。	・それぞれのクラスにあった活動ができるよう人材確保と職員のスキル向上に努めていく。
2	・人員不足で、もっと手をかけて課題と向き合いたいと思っている児に対して十分な支援ができない。また、育成にあたる職員が少ない。	・職員全体の人数はいるが、非常勤が多く、働く時間帯がそれぞれ違うため、情報共有の難しさとスキルに差が出てしまっている。また、給食後や職員の休憩時間など時間帯によっては、応援職員が必要となる。	・職員の募集を引き続き行うが、待っているだけではなく事業所のアピールできる場所には積極的に参加する。まずはどうしたら説明会に足を運んでいただけるか、幅広い職員から案を募っていく。
3	・倉庫や教材室などの定期的な整理整頓ができていない。	・特に係を決めることをしてこなかったため。 ・日々のやるべき業務に追われ片付けの時間が取れない。	・担当の人やクラスを決めたり、責任もって管理できる体制を作っていく。